

日本心臓リハビリテーション学会第 10 回関東甲信越支部地方会
開催のご案内

日本心臓リハビリテーション学会
第 10 回関東甲信越支部地方会 会長
石田 岳史
(東京科学大学 総合診療科)

この度、日本心臓リハビリテーション学会 第 10 回関東甲信越支部地方会を 2025 年 11 月 1 日(土)に東京科学大学鈴木章夫記念講堂において開催する運びとなりました。関係者一同、大変光栄に存じます。

健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法に基づき策定された「循環器病対策基本計画」では、循環器病に対する包括的な対策として、心臓リハビリテーションの意義と役割が明記され、すでに回復期リハビリテーション病棟での心大血管疾患リハビリテーション料の算定が可能となっております。今後は継続率が低いと指摘されている生活期・維持期における心リハの充実が強く望まれます。

今回の地方会テーマは「心臓リハビリテーションと ACCCA」といたしました。プライマリ・ケア領域で知られている ACCCA という言葉は、多くの本学会員にとって、あまり馴染みがないかもしれません。ACCCA は米国国立科学アカデミーが提唱したプライマリ・ケアの 5 つの要素(Accessibility, Comprehensiveness, Coordination, Continuity, Accountability)の頭文字を並べたものです。これらの要素は回復期から維持期の心リハにも応用できる概念です。すなわち「通いやすい地域において、包括的に、多職種で連携し、継続的に、さらに心リハ指導士・上級指導士・認定医による質の高い心リハの提供」を意味しており、まさに我々学会員が 2040 年に向けて取り組むべき課題であると考えています。このテーマに沿って、基幹病院、小規模病院、クリニック、メディカルフィットネス、介護事業者、さらにそれらをつなぐ関連企業が協力し、地域連携の礎となる、本地方会独自の特色あるプログラムを用意しました。

特別講演には、パンデミック対応の陣頭指揮を執られた尾身茂先生をお迎えします。また会長特別企画として「メディカルフィットネスのリアルワールド ～バーチャル施設見学～」を開催いたします。さらに、地域の会員同士が直接交流できるよう、一般演題はすべて口述発表といたしました。会員の交流促進、地域固有の課題解決の一助となる場として、本地方会の魅力を存分に感じていただければ幸いです。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。